



令和 3年 9月 1日

千母の会だより

豊橋市肢体不自由児(者)父母の会 第47号

〈発行責任者〉豊橋市杉山町向井 24-2 中神 達二 TEL/ 0532-23-3217

FAX/ 0532-23-4830 E-mail/rsa34375@nifty.com



『大好きなカーズ 大好きなトミカ』豊橋市立豊岡中学校 2年(特別支援級) 大谷幸太郎

豊橋市肢体不自由児(者)父母の会の公式 LINE アカウントの紹介



右のQRコードをスキャンして登録してね。
大切なお知らせやイベント情報なども得られるよ。
よかったら友達登録してみてね♡





47号の記事内容

- ・令和2年度要望書・回答・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
 - ・令和4年度要望書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
 - ・豊橋市民病院3F 多目的トイレに大人用ベッド設置・・・・・・・・・・10
 - ・第20回豊障連大会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
 - ・青い鳥郵便はがき寄付のお礼・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
 - ・講演会「私の出逢ったこどもたち」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
 - ・令和3年度あゆみ学園 Q&A 報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
 - ・災害時の避難について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
 - ・友だち紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
 - ・今後の主な行事予定・あとがき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
-
-



ホームページ <https://www.fubonokai-toyohashi.com>



令和2年度の要望書の回答をいただきましたので、父母の会関連分を紹介させていただきます。

「豊橋障害者（児）団体連合協議会 要望書」についての回答

要望事項	回答
<p style="text-align: right;">豊障連要望</p> <p>1. 新型コロナウイルス感染症治療における障害児者への配慮をお願いします。</p> <p>●障害児者や家族が感染した場合、軽症、無症状なら自宅療養を選択でき、容態の確認が行われ、重症化への対応に手遅れが無いようにしていただく事が望まれます。その場合、豊橋市保健所、医療機関と連携出来るよう、障害児者本人に関わる支援者等の協力をお願いしたく、そのことを行政からも働きかけてください。</p> <p>●更に重症化の場合、障害に理解がある医療機関への入院要請や家族の付き添いの許可を求めます。しかし、付き添い不可や家族に事情がある場合などは、障害児者本人をよく知る支援者等による病院への定期的な病状確認などもお願いしたく、行政からも働きかけをお願いします。</p> <p>●また、ワクチンが将来開発され、予防接種が、ハイリスクな方から優先的に始まると考えられますが、障害児者もその対象者として配慮をいただけるようにお願いします。</p> <p>『障害、難病を持って生を受ける事には確率があります。たまたま確率から外れた大多数の方は健常に生まれてきたのです。人ごとではないのです。大切なのです。みんなで守らなくてはなりません。』これは、難病の治療に携わってきた現場の医師の言葉です。どうか、この言葉の意味を今一度お考えください。</p>	<p style="text-align: center;">【担当課：健康部健康政策課】</p> <p>・自宅療養者については、毎日保健所から健康状態の確認の連絡をし、必要時には医療機関へつないでいきます。</p> <p>・入院時の付き添いはできませんが、必要時には病状をご家族へお伝えします。</p> <p>・ワクチン接種については、国が制度設計しますので、国の指示に沿った運用となります。</p>

要望事項	回答
<p style="text-align: right;">豊障連要望</p> <p>2. 全ての障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築を速やかにお願いします。</p> <p>国が示す精神障害者のみならず、「全ての障害者にも対応した地域包括ケアシステム」を中核市豊橋に於いて速やかに構築してください。</p> <p>また早期構築のためには、豊橋市障害者自立支援協議会の下に「ワーキンググループ」を立ち上げて新たなる「専門部会」の設置も視野に入れ、庶務担当課である障害福祉課が中心となって、他機関（医療・地域・教育・介護等）と連携した「協議・検討の場」を設けてください。そして更に実効力ある「ネットワーク作り」のためにも、必要に応じて当事者や家族等にも声掛けをしていただき、その想いが反映されるシステムとしてください。</p>	<p style="text-align: center;">【担当課：福祉部障害福祉課】</p> <p>精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについては、健康増進課が構築支援事業として、「保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置」、「アウトリーチ支援に係る事業」、「措置入院者及び緊急措置入院者の退院後の医療等の継続支援に係る事業」、「精神障害者の地域移行・地域定着関係職員に対する研修に係る事業」を令和2年度に実施しており、協議の場については、「豊橋市健幸なまちづくり協議会精神保健福祉推進部会」として開催されており、当事者や家族会、障害福祉課も参加しています。今後は、その内容を自立支援協議会へも情報共有を図りたいと思います。</p>
<p style="text-align: right;">豊障連要望</p> <p>3. 医療的ケア・強度行動障害に対応できるショートステイ及び児童発達支援や放課後等デイサービス、生活介護、日中一時支援事業の設置・増設をお願いします。</p> <p>豊橋市において、医療的ケア・強度行動障害に対応できる福祉サービス種・事業所の数は少なく、その他の福祉サービス種・事業所と比べての需要供給バランスの悪さは否めません。サービスの必要な方は、毎年増え続けています。豊障連でも、要望書等を通じて多岐にわたり設置・増設をお願いし続けていますが、行政や医療機関及び民間の事業所での対応数に大きな変化（増加）はありません。</p> <p>今後も豊橋市として、事業者等に医療的ケアは日常生活に必要な行為であることや強度行動障害の方の生活の様子も含め、サービスニーズ数の把握と周知に努めると共に、サービス提供を開始しようとする事業者に対し、現行の補助金の説明や必要に応じて新たな補助・助成金等の開設を行うなどして設置・増設の肩入れをお願いします。</p> <p>特に、ショートステイの利用は緊急時が多い</p>	<p style="text-align: center;">【担当課：福祉部福祉政策課】</p> <p>障害者自立支援協議会の「医療的ケアに関するワーキング部会」において引き続き協議を重ねながら、団体と連携・協力してショートステイに取り組んでいただける事業所の開拓に努めてまいります。</p> <p>障害者自立支援協議会において、実際に強度行動障害者を支援することができる事業所が増えるように、経験者から未経験者や事業所間のフォローができる仕組みになどについて、検討していきます。</p>

要望事項	回答
<p>のですが、市内の医療機関や福祉施設での対応は、全くもってできていません。虐待等の対応として、市長による「やむを得ない事由による措置」や「緊急一時保護事業」がありますが、要綱などを改正し、医療的ケア・強度行動障害の方たちの緊急時にも対応することができれば、現行の数の不足を補えると考えます。その際も専門性の高い事業者が支援対応する時には、加算などの措置を追加していただければ、協力する事業所も増えると思います。その経験により標題の事業に着手する可能性も高まると考えます。</p>	
<p style="text-align: right;">豊障連要望</p> <p>4. 災害時に障害児者に配慮する項目をサービス等利用計画に盛り込むようお願いいたします。</p> <p>障害児者の福祉サービスを利用する時には必ずサービス等利用計画が必要です。障害児者は災害時に服薬情報や人工呼吸器等の使用について、また感覚過敏等で避難場所が限定される等、様々な配慮が必要であると考えられます。</p> <p>災害時に障害児者本人や周りが混乱しない為に今後、サービス等利用計画を作成している人に対して災害時の情報を纏める欄を設けて頂き、災害時にスムーズに支援が出来る仕組み作りをお願いします。</p>	<p style="text-align: center;">【担当課：福祉部障害福祉課】</p> <p>サービス等利用計画に、災害時の情報をまとめる欄の設置等について、自立支援協議会の相談支援専門部会や相談支援事業所連絡会等で検討を行います。（市で統一様式作成を目指す。）</p>

「令和2年度 各団体要望」に対する回答

要望事項	回答
<p>豊橋市肢体不自由児（者）父母の会</p> <p>7. 移動支援事業の利用対象者拡大および通学、通園、通院に利用できるように制度の見直しをお願いします。</p> <p>移動支援事業は大変良い制度ですが、知的や精神障害者の手帳所持者は移動支援アセスメントの結果次第で誰でも利用できる状況です。しかし身障手帳所持者は、現行、体幹1・2級、下肢1級以上しか利用できない状況です。必要に応じて身障手帳所持者でも移動支援アセスメントを受けさせて頂き結果によって対象者の拡大をお願い致します。</p> <p>身体の場合は介護保険対象者（制度がない）の利用が多く見込まれ、介護保険対象者は除くというような年齢条件等を設ければ対象者は限定されると思いますので早急に改善をお願いいたします。</p>	<p>【担当課：福祉部障害福祉課】</p> <p>移動支援事業の身体障害者の要件につきましては、他市の状況の調査等を行うなどして検討します。</p> <p>通勤、通学等の利用については、基本的には利用できませんが、家族等の入院ややむを得ない事情による場合であれば、通年かつ長期にわたる外出でも一時的に移動支援の利用が認められる場合がありますので、障害福祉課へご相談ください。</p>
<p>豊橋市肢体不自由児（者）父母の会</p> <p>8. 渥美線の主要な高師駅、大清水駅のバリアフリー化を図って下さい。</p> <p>以前に要望書を提出させて頂いた渥美線南栄駅のバリアフリー化については令和2年3月に改善されました。厚く御礼申し上げます。しかし乗降客が多い高師駅・大清水駅は車いす利用者にとっても使いづらい状況です。高師駅はスロープがなく駅員の補助を長い間待たなければなりません。また大清水駅は改札に階段があり、スロープは外に廻って鉄扉を開けてもらう必要があります。その上、昇りも下りも急な坂となっていて一人では昇り降りが出来ない状態です。</p> <p>国の基本方針として一日平均乗降客が3,000人以上いる駅はバリアフリー化するという目標がありますが、現在は人口減少の影響もあり両駅ともその基準に満たされていない調査結果だとお聞きしています。</p> <p>しかし車いす利用者は身体障害者だけでなくお年寄りを含め増えています。スロープがなかったり、急な坂道の昇り降りは誰かにお願いして補助してもらいしかなく、大変不便でいやな思いをするので両駅を利用しないと言う声を多く聞きます。また合理的配慮の面からも十分ではないと思われまます。</p> <p>渥美線は公共性が非常に高く、車いす利用者の利便性を向上のためにも豊橋市としても是非改善に取り組んで頂けるようお願いいたします。</p>	<p>【担当課：都市計画部 都市交通課】</p> <p>渥美線の主要駅におけるバリアフリー化は、豊橋市としても必要性を認識しており、事業者である豊橋鉄道（株）にお願いしているところです。</p> <p>高師駅や大清水駅は、国土交通省が定めた「移動円滑化等の推進に関する基本方針」に基づく1日当たりの平均的な利用者数が3,000人に達していないため、整備の予定は定まっておられません。</p> <p>高師駅や大清水駅をバリアフリー化するためには、共に多額の費用が必要となりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業者の経営状況は厳しいと伺っております。</p> <p>高師駅のバリアフリー化は、駅の全面的な改修が必要であり、大清水駅についても大規模な改修が必要であり、早期の実施は困難であると伺っております。</p> <p>いただいたご要望は、事業者へ伝えさせていただきます。</p>

要望事項	回答
<p data-bbox="336 197 855 235">豊橋市肢体不自由児（者）父母の会</p> <p data-bbox="164 241 786 280">9. 福祉タクシー増車対策をお願いします。</p> <p data-bbox="156 327 858 510">福祉タクシーを以前より時々利用していますが、近頃予約がとでも取りづらくなっています。タクシー会社によると、福祉タクシーは採算が合わず数社が撤退していて、台数も減少している状況のようです。</p> <p data-bbox="156 517 858 701">障害児者やお年寄り福祉タクシーを利用する機会が多いですが、利用したい時に利用できないのはとても不便を感じます。補助金付与等福祉タクシー増車の対策を講じていただけますようお願いいたします。</p>	<p data-bbox="999 237 1417 275">【担当課：福祉部障害福祉課】</p> <p data-bbox="882 356 1433 616">福祉タクシー（ユニバーサルデザインタクシー含む）導入に係る補助制度につきましては、既に国、愛知県、豊橋市に助成制度があり、本市では毎年5～10件程の助成を行っています。また、撤退する事業者もいますが新たに参入する事業者もいます。</p> <p data-bbox="882 622 1433 806">そのため、予約が取りづらくなっている理由が、一概に台数の減少とは言えないと考えます。利便性向上のため利用者や事業者の声を聞きながら状況把握に努めます。</p>
<p data-bbox="336 853 855 891">豊橋市肢体不自由児（者）父母の会</p> <p data-bbox="159 904 855 992">10. りすば豊橋で時間単位・障害者専用レーン設置をお願いします。</p> <p data-bbox="156 1039 839 1339">りすば豊橋を時々利用させていただきありがとうございます。昨年度も要望させていただきましたが、25mレーンに時間単位・障害者専用レーンを1レーン（有料・1時間で可）設けていただきたいと思います。昨年度の回答で25mレーンについては、常時専用レーンを設けていないが、状況によっては柔軟な対応が可能な場合もあり必要時ご相談くださいとありますが、現実には対応が難しいようです。</p> <p data-bbox="156 1346 839 1568">障害者と健常者が同じレーンを利用する場合、ちょっとした事でもめたり、何かとトラブルになったりすることが多々あります。他のプールでは専用レーンを設けている所も有ります。プールは利用者全員が気持ちよく利用させていただくためにもご配慮よろしくをお願いいたします。</p>	<p data-bbox="999 896 1417 934">【担当課：健康部健康増進課】</p> <p data-bbox="882 1021 1437 1319">25mプールについて専用レーンの常時設置は規模的にも困難と考えています。ただし、臨時的な設置であれば可能な場合もございます。事前に健康増進課に御相談いただき、こちらで施設担当者調整いたしますので、ご要望の日程を一週間程度前にご連絡いただくと幸いです。</p>
<p data-bbox="336 1608 855 1646">豊橋市肢体不自由児（者）父母の会</p> <p data-bbox="159 1659 855 1774">11. 防災・停電対策として人工呼吸器装着児者の加湿器用ポータブル電源購入費用5万円助成をお願いします。</p> <p data-bbox="156 1821 839 2004">災害時の停電対策として、人工呼吸器使用に必要な発電機等の補助金は令和2年4月より自家発電機及び外部バッテリー等の購入代金に対して上限10万円の補助金を新設していただき深く感謝申し上げます。しかし10万円は人工呼吸器に常に付属して使用す</p>	<p data-bbox="999 1650 1417 1688">【担当課：福祉部障害福祉課】</p> <p data-bbox="882 1807 1433 1993">加湿器がないと乾燥することで痰が絡む等の命の危険につながると考えますが、人工呼吸器に比べると緊急性は低く又加湿に関する代替の手法もあると考えます。</p>

要望事項	回答
<p>る加湿器は含まれていません。加湿器にはポータブル電源(蓄電池)が必要不可欠です。それがないと痰が詰まってしまい呼吸を十分にサポートすることができません。</p> <p>在宅で電源の必要な人工呼吸器等医療機器を常時使用している重症心身障害児者は発電機や加湿器用ポータブル電源(蓄電池)の確保は急務で、命に直結する問題です。是非発電機の他に加湿器用ポータブル電源(蓄電池)購入費用として5万円の補助金新設をお願いいたします。県内豊田市では令和元年度より、発電機とポータブル電源別々の補助金制度が制定されていますのでよろしく申し上げます。</p> <p>(標準価格:発電機12万、ポータブル電源6万円) (参考:豊田市災害時電源補助金・人工呼吸器用バッテリー20万円、発電機11万円、ポータブル電源等5万円)</p>	<p>よって、現段階において新たな補助金の新設は考えておりません。しかし、少しでも人工呼吸器使用者を支援できるよう、現制度の自家発電機等の項目に含めるなどの手法を検討したいと考えます。</p>

*会員の皆さまからお寄せ頂いた市長、議長に対する4年度父母の会要望書の原案が出来ましたので紹介します。今後豊障連各団体と調整し要望書として提出していきたいと思いを。

令和4年度要望書

3.7.15

豊橋市肢体不自由児（者）父母の会

1. 小中学校の階段に昇降機設置のお願い

・近頃地元の小中学校に通う身体障害児が増加していますが、小中学校は段差や階段が多く、車いすや歩行器利用者は大変不便な学校生活を送っています。給食用エレベーター利用は衛生上問題があり、現状人力による階段の昇り降り等個別に対処してくれていますが、根本的な解決には至っていません。またとても危険で毎回不安な気持ちで昇降しています。身体障害児が安心安全、快適な学校生活を送るためにも階段昇降機設置を是非お願いいたします。豊川市はデモ機を使い試しており前向きに検討中です。

2. 豊橋市民病院障害者駐車場の屋根設置のお願い

・市民病院の大人用ベッドについてはR3年5月に設置していただき会員みんなが喜んでいました。本当にありがとうございました。

障害者駐車場(車いす専用6台、歩行困難者用25台)の屋根は以前にも要望させていただきましたが、屋根の設置には支柱が必要で駐車台数減や視界が遮られ事故の危険が増すので難しいと回答をいただきました。雨降りの時は屋根のある玄関前の乗降場所は非常に混雑し殆ど利用できません。せめて車いす専用屋根があれば車いす利用者は大いに助かります。障害児者の多くの方が市民病院を利用されますが、支柱設置による台数減は已む得ないと考えます。視界が遮られる点については今まで他の駐車場でも事故発生等の話は聞いていませんので是非前向きご検討よろしく願い申し上げます。

3. 重度重複障害者の生涯学習支援体制の構築のお願い

・近年文科省において、学校卒業後の障害者の生涯学習充実を支援策として掲げています。

豊橋市においてはさくらピアで文化活動・スポーツレク等の講座などがありますが、もう一つ踏み込んだ学びの場等を設けていただきたいと思います。

重度重複障害者は文化活動等を体験する場合、介護者の支援があって始めて参加できます。それにはコミュニケーション能力が必要です。コミュニケーションは個々の状態によって異なりますが、昨今ではICTを活用することでタブレット端末の仕様・視線入力など様々なことが体験できます。そのためには支援者の情報技術の理解をはじめ、本人の学習意欲や体験の場、使用モラルの分別も必要となってきます。

生涯学習が進んでいる地域では福祉サービスと絡めて事業所での学びの時間をもつ所もあるとお聞きしています。豊橋市はSDGs(持続可能な開発目標)を推進しています。元々障害児の教育に慣れている特支学校の退職教諭等を活用することで、学習の場を広げ、情報社会から障害者が置き去りにされない街を作っていただきたいと思います。

4.交通助成券(5,000 円分)の選択内容追加のお願い

・現在交通助成券(6 歳以上・5,000 円分)は電車、バス、タクシー等の選択制になっているが、選択肢の一つとして燃料券(ガソリン代等)を追加していただきたいと思います。

障害児者の場合、電車、バス、タクシー等を利用しないで自家用車で移動することが多く交通助成券が有効に活用されていない現実があります。ガソリン代として利用出来れば多少なりとも家計の助けになります。横浜市、横須賀市等そういった対応をしている所もありますので是非ご検討お願いいたします。

5.日常生活用品・紙おむつ受給者にゴミ袋支給のお願い

・日常生活用品の紙おむつは現在申請して 2 か月で 24 千円分が現物支給されています。紙おむつについては、今までおしりふきや業者(薬局)の追加等いろいろ改善していただき感謝申し上げます。紙おむつは取替え後可燃ゴミとして必ずゴミ袋が必要になります。そのゴミ袋の支給を是非お願いいたします。岐阜県本巣市で既に実施(年間可燃ゴミ袋小 60 枚・20 入×3 セット)しています。

6.指定福祉避難所の指定推進と受け入れ体制構築のお願い

・今般「災害対策基本法」が改正され、令和 3 年 5 月 20 日に施行された。それに伴い「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」が改定された。

現在の福祉避難所は一次避難所に避難した人から福祉避難所に移る必要がある人を移していますが移動による負担が大きなネックとなっている。また最初から福祉避難所を開設すると住民が殺到し、混乱や運営への支障が生じる可能性が高い。

今回の改定はそういった事を避けるために、市町村が障害児者や高齢者等受入対象者をあらかじめ決め、特定した本人とその家族のみが避難する施設である事を明らかにしておく指定福祉避難所制度が創設された。指定福祉避難所は災害発生時に直接避難も可能としている。

障害児者等は一次避難所で過ごすことができない場合が多く、指定福祉避難所に直接避難できれば障害児者等が少しでも過ごしやすくなり、避難所生活に対応することは可能と考えられる。指定福祉避難所の指定推進と受け入れ体制の構築を是非お願いいたします。

以上



豊橋市民病院の3F 多目的トイレに大人用ベッドが設置されました

表題の件について長年要望を重ねて来ましたが、念願が叶い今年の5月に折り畳み式ベッドを設置していただきました。ありがとうございました。

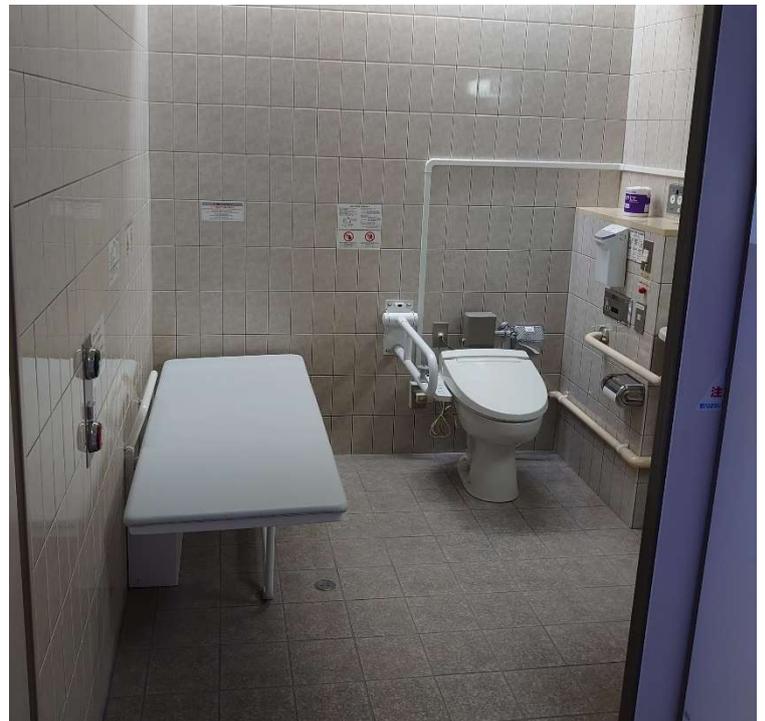
今まで各階に多目的トイレはあるものの大人用ベッドがなく、導尿やおむつ替えで利用したい時は看護師さんに一声かけ、診察室のベッドを利用させていただいていました。診察が終わった後は声かけのタイミングも難しく、なかなか利用しづらいものがありました。

3F という事は有りますが、EVを降りたすぐ前であり、必要時に積極活用していただきたいと思います。

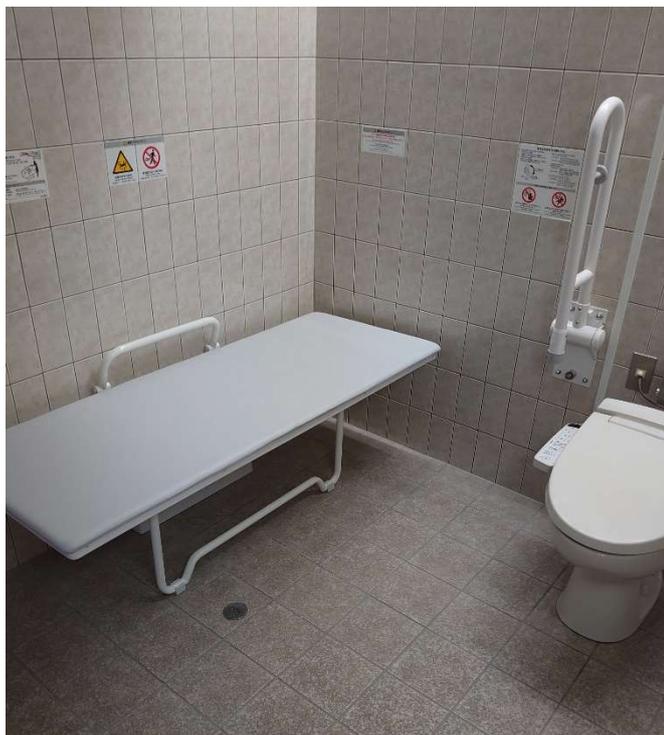
中神



← たたんだ状態



使用時↗



← 使用時別角度



曇り空のなか、第 20 回豊障連大会が 6 月 27 日にあいトピア多目的ホールでコロナの影響で人数制限およびリモート併用で、ご来賓 2 名(福祉部長、課長)と豊障連各団体 10 名程度、総勢 66 名の参加で開催されました。

最初に豊障連山下会長のあいさつがあり、引き続きご来賓から祝辞をいただきました。その後、前年度評議員会、活動、決算報告、さくらピア運営状況等の説明、及び今年度の役員、事業計画、予算の議案が承認されました。

第二部では視覚障害者ピアニスト・前川裕美氏の「夢見る力を信じて～ともに生きる未来へ～」のトーク&コンサートです。

幼小児から弱視であったが、3 歳から音楽教室に通い、6 歳で作曲を始めた。徐々に視力、視野を失っていく中で、作曲理論を学び、高校の音楽科で様々なジャンルの音楽に触れ、舞台にも出演する。

高校卒業後、単身渡米し、語学の習得、盲導犬との出会い訓練等を経て音楽大学に入学し、作曲・編曲・声楽・ピアノを学び 6 年間の留学生生活を終え、帰国後全国各地でトーク&コンサート活動を開始。

そして今回の出演となったものです。

参加者の方の感想文を紹介します

<会場参加>

6 月 27 日に豊障連大会に参加しました。2 部の記念講演、全盲の前川裕美さんのトーク&コンサートに感動しました。

子供の頃全く目が見えないわけでは無かった為。病気に気が付かず不便さを抱え生きてきた事。網膜色素変性症と言う病気がわかってからは、弱視の方々の生活の大変さ、病気の進行に伴う中途失明の辛さを話して頂きました。

1 番ビックリしたのは、弱視の状態だった高校時代に単身アメリカ留学を決意した事です。周りの人達の反対しを押し切り行ったアメリカでの障害者への自然な接し方が彼女の人生を変えたそうです。

今、彼女は結婚してお子さんもいて、お母様やご主人の協力で、こうした音楽を通して自分の病気や障害を知ってもらおう活動をしてらっしゃいます。

目が見えていないのが嘘の様なキラキラした瞳と可愛らしい澄んだ声で唄う歌、そして時々出る関西弁が印象的でした。

尾崎博美

<リモート参加>

オンラインの豊障連大会ありがとうございました。会長や部長など、顔を見ながら、話を聞けてよかったです。資料が手元があればもっとよかったです。

コンサートは、生演奏、生の歌声、素敵でした。ありがとうございました。

来年はどちらも、あいトピアで大会に出席したいです。

松井理恵

いろいろご苦労はあったと思いますが、それらを全然感じさせない前川裕美さんのとても明るくて前向きな姿勢に、自分も見習わなくてはいけないと思いました。それと、お子さんと一緒に歌っている姿がすごくほほえましくてすてきでした。いつかコロナが収まったら、今度はリモートではなく、豊橋に来ていただいて、直接お会いして生演奏や生歌をお聴き出来たらいいなあと思います。

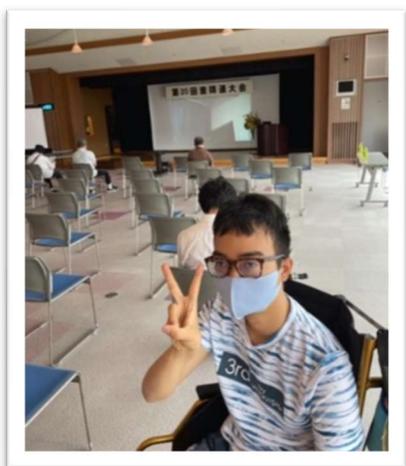
福井祐紀

ピアノ弾き語りコンサートは演奏者の表情がよくわかり、透き通った歌声と息子さんとのコラボは素敵でした。曲も今の疲れた気持ちを癒してくれました。第1曲目オズの魔法使いの「虹のかなたに」素敵でした。彼女のこれまでのご苦労や目が見えなくなっていく恐怖などじっと聞いて身にしみました。でもいつも大丈夫という持ち前の明るさを感じました。

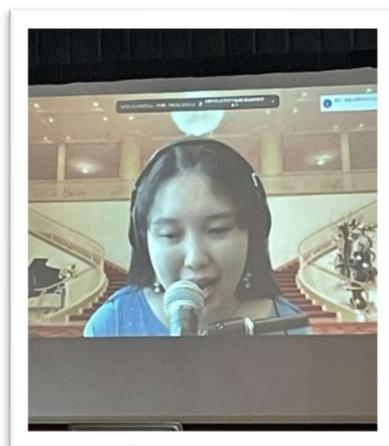
障害があると積極的になれなくなりますが、勇気を持って進むことは大切ですね。自分に障害があっても周りの困っている方を見つけたら声をかけ、助けや応援につなげていこうと思います。

お世話してくださった関係の方々有難うございました。遠く神戸からのピアノ演奏楽しかったです。

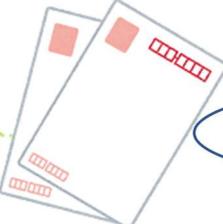
岩瀬秀子



密を避けた形式の会場



リモートで出演された前川裕美氏



青い鳥郵便はがき寄付のお礼



前号で紹介しました「青い鳥郵便はがき」の寄付、ありがとうございました。

寄贈者は芝原金吾さん、後藤晃佑さん、金田雄也さん、島田侑歩さん、菅沼亮也さん、井土瑠美さん合わせて6名の方が寄贈してくださいました。



講演会「私の出逢ったこどもたち」実施報告書

令和3年7月3日実施

令和3年7月3日（土）、「東三ブロック父母の会児童部」「豊橋あゆみ学園」共催でオンライン講演会を開催しました。

講師に、昨年度まであゆみ学園で副園長をされていた理学療法士幾田真千代先生をお迎えし、「私の出逢ったこどもたち」と題してお話をして頂きました。

昨年度同様 Zoom を利用しての開催となりました。

参加人数 41 名

・ 講師	1 名
・ あゆみ学園コーディネーター	1 名
・ 保護者	32 名
・ 支援者	5 名
・ 当事者	2 名

講演内容は、先生が理学療法士を目指すようになったきっかけ、大学病院での療育、小児に携わることになった経緯やあゆみ学園で出逢ったこどもたちの療育について、とても貴重なお話を聞かせて頂きました。

質疑応答では、あゆみ学園へ通ってみえた当事者の参加者さんへ、先生から「久しぶりだね！！」

「今はどうしているの??」と声を掛けられる場面もあり、終始和やかな雰囲気が進められました。

開催後に一人の参加者さんが声を掛けて下さりました。

「幾田先生を講師に選んで頂きありがとうございました！！」と。

こちらこそ、ご参加くださったみなさまへこの場を借りてお礼申し上げます。

ありがとうございました。

以下、アンケートより抜粋して感想を掲載させていただきます。

.....

- ・ 久しぶりに幾田先生の声が聞けて嬉しかったです。娘も一緒に聞かせてもらいました。ありがとうございました。
- ・ 幾田先生の過去を聞くのが初めてだったので新鮮でした。第2弾を期待します。
- ・ 幾田先生から突然指名されてびっくりしました。お話が出来て嬉しかったです。
- ・ 幾田先生のお話を聞いてとっても良かったです。あゆみでリハビリを受けてスパルタだったけど、ちゃんと子供の為になっていて良かったと思います。

- ・幾田先生へ。ありがとうございました。先生、私のことを覚えていていただきありがとうございました。私は人見知りだったけど、先生は一生懸命やってくれていました。自分のことを話せてよかったです。
- ・幾田先生の貴重なお話をお聞きできて本当に良かったです。学校に来ていただいた際、幾田先生の子どもたちの姿勢作りに対する熱い思いに、いつも感動していました。また、いろいろ教えて頂けたら嬉しいです。
- ・娘が3歳の時から、4年間あゆみ学園に通わせて頂きましたが、療育・リハビリの両方ですごく手厚く見て頂き、海水浴など家族ではできなかったことも沢山経験させて頂き、あゆみ学園で過ごした4年間は娘にとっても、私にとっても宝物です。
- ・いつも真剣に向き合っていて下さっている幾田先生にあの時出会えたことは本当に幸福だったんだなと思えました。今回の講演で幾田先生が、出会った子には誰一人同じ子はいないしその度に真剣に考え試行錯誤してここまで来たとおっしゃっていて、その生涯学ばれている幾田先生の姿勢に感動しています。ありがとうございました！！

幾田先生の貴重なお話をお聞きして!!

幾田先生、講演会を準備していただいたスタッフのみなさん、貴重なお話を聞く機会をありがとうございました。

私はあゆみに通っていた当時、独歩で、そんなに重度の障害ではなかったです。また20年以上前にお世話になったのです。しかし先生は私のことを覚えていてくださり、先生と zoom を通じて直接お話ができました。嬉しかったです。

私はあゆみに半年、その後は青い鳥に長年通っていました。今でも豊橋の整形外科の外来、リハビリに通っています。医師、理学療法士看護師さん等にお世話になっています。

私は自分が障害者だから、福祉の分野に興味があります。貴重な話が聞けました。先生が理学療法士になった理由、あゆみのような疾患を持つ子供の施設に勤めるようになった理由を知ることができてよかったです。先生の"一人一人患者の症状が違う。皆に同じように治療しても、うまくいかない"という言葉が印象に残っています。

今後も病院関係者（医師、看護師、作業療法士等）、施設のスタッフの皆さんなど、福祉の分野で働く方のお話を聞きたいです。本当は、直接先生にお会いして、お話を聞きたかったです。早くコロナが収まって、あイトピアの講堂のような広い部屋で、講師、参加者が同じ部屋で集まって講演会ができることを願っています。

松井理恵

*他にもたくさん感想を頂きました。ありがとうございます。



令和3年度 第1回あゆみ学園 Q&A 報告書

令和3年5月20日

於:あゆみ学園リハ棟

今年度、初めてのあゆみ学園 Q&A のテーマは、「幼児期・あゆみ学園で頑張ったこと」です。
あゆみ学園からは、田中先生と11名の保護者の方の参加、話し手は、児童部スタッフ3名と中神会長の4名で行いました。

はじめに会長からの挨拶と父母の会の説明。

- ①児童部スタッフ自己紹介
 - ②自己紹介を受けて、あゆみ学園田中先生より質問
 - ③2グループに分かれて懇談
- という流れでお話させて頂きました。

【自己紹介を受けて田中先生より質問】

Q:麻痺があることで気をつけていたことはありましたか？

A:自分の体に左腕があることを忘れないようにした。例えば両手を揃えていただきますをする、着替えの時に左手にシールを貼ってそれを剥がしながら体の位置を意識させるなど。

麻痺があっても積極的に両手を使う事につながっている気がする。

Q:5年間のあゆみ学園生活で頑張った事は何ですか？

A:①毎日通うこと(睡眠リズム、生活リズムを整える)

②体力をつける事(できるだけ散歩に連れ出して光や風、自然を感じさせた)

年齢が上がるにつれて入院が減り、体力がついて毎日通えるようになった。

Q:親にとってあゆみ学園の存在は？

A:お友達と比べるとはよくないと思ってもネガティブになることはあった。そんな時、話を聞いてもらう事で自分の気持ちも変わっていった。親にとっても大好きな場所。

A:最初はわが子が泣いてばかりだったが、ある時を境に泣かなくなった。田原から45分かかったが、親があゆみ学園に通うことが楽しかったので、毎日の遠距離の通園も苦ではなかった。

また、中神会長より、「親の笑顔、夫婦の笑顔が大切」との助言がありました。

【グループに分かれて懇談】

グループ1

Q:地域の小学校・中学校の支援はどのような感じですか？ A:小学校入学時の支援員さんがついての支援、小学校高学年、中学校の教員複数配置での支援についてお伝えする。先生方に気持ちを伝え、一緒に考えていくことで学校全体の支援の質もあがっていくと思う。豊橋は個別に子どもに対して支援員がつく制度ではない。

Q:地域の小学校入学に向けてどう動いたか?

A:6月に小学校を初訪問し、通常級、支援級の授業を体験したこと、通学の練習を2月から始めたこと、学習のフォローで学研教室に年長の秋から通ったことなど、選択肢を狭めずに検討したことを話しました。さまざまな相談機関についても田中先生がフォローしてくれました。

グループ 2

Q:父母の会に入会したきっかけは?理由は?

A:今回のような、あゆみで開催された父母の会の座談会がきっかけです。自分の子よりも、年上の子供を持つ方と知り合えるのでは、と思って。学校の事とか、自分自身より先に経験してみえる事ばかりなので分からない事も気軽に相談出来ます。

Q:湖西市から豊橋市父母の会に入っている方は居ますか?

A:居ます。今は、浜松特支に通われていますが、今でも交流があります。父母の会の行事にも参加されています。

Q:子供がよく泣いて困っています。

A:あゆみの頃はよく泣いていました。本人の成長もあり段々変わってきます。泣き止まない時は、他の事(遊び)をさせてみて下さい。教室から外に出てみるのも良いかと思います。

Q:あゆみ通園の際、車に置いておいて良かった物がありますか?

A:昼食を忘れた時の為に、カップ麺を準備していました。水遊びの時や、子供に汚されてしまった時の為の母の着替えも準備していました。

Q:子供に給食を食べさせるのに時間がかかり、自分が食べる時間がありません。

A:朝ごはんを沢山食べて登園していました。昼食には、おにぎり等、短時間で食べられる物にしていました。
.....

様々な質問が飛び交い、有意義な時間になりました。

以上

令和3年度 第2回あゆみ学園Q&A 報告書

令和3年7月1日
於：あゆみ学園リハ棟

第2回目は「きょうだい・ひとりっこについて」お話をさせて頂きました。

あゆみ学園からは12名の保護者の方の参加、話し手は児童部スタッフ5名と中神会長の6名で行いました。

<豊川市・きょうだい→姉・本人・妹>

姉はあゆみ学園で障害を持つ子とよく触れ合っていたこともあってか、障害を持つ子に全く抵抗がなく、むしろ関わりたい、福祉の道へ進みたい、と思っている様子。

妹はそこまでではない。やはりあゆみ学園のころはまだ赤ちゃんだったからか、本人の性格か。

ごく自然に障害のあるないに関係なくきょうだい喧嘩もするし、他の子とも接している。

本人への接し方は、姉妹共に自慢の妹、姉と思っている様子。隠すどころか「私のきょうだい!!」と言う程。

<豊川市・ひとりっこ>

母自身がひとりっこのので、きょうだいを作ってあげたいとは思っていた。夫婦で話し合い、落ち着いたらと思っていたが、なかなか難しかった。やはり、競う相手がいないのでそういった学びはできていない。一人なので手をかけてあげられるが、親亡き後の不安はある。

<豊橋市・きょうだい→本人・妹>

二人目がなかなかできずに8歳差になってしまった。妹は健常児だが、我が強いので手がかかる。健常児だからいいとか、障害児だから大変と思っていたがそれでもなかった。妹ができたことで福祉サービスをよく使うようになり、本人もいろんな人にお世話をしてもらうことに慣れた様子。

<豊橋市・ひとりっこ>

産後、精神的に不安定になってしまい薬を服用していたため、二人目を考えられなかった。周りから、どうして二人目を産まないのかと言われるのがとても嫌だった。それぞれの事情がある。人に言われてきょうだいを作る人は居ないと思うので、そっとしておいて欲しかった。

<田原市・きょうだい→姉・本人>

3つ上の姉は、外では障害児のきょうだいを隠したが。あゆみ学園にはよく付いて来ていたが……。大学も福祉関係とは異なる道に進んでいる。

ただ、家では溺愛・大好きでとてもかわいがっている。その子の人生なので、それでいいと思う。

質疑応答

Q:きょうだいに、障害の説明をする時期を迷っている。

A:小学校低学年のうちに親から話したほうがいいと思う。その時はしっかりと理解できなくてもずっと頭に残るはずなので。

Q:遺伝性疾患なので二人目を迷っている。

A:産まずに後悔するよりも、たとえ二人目の子にも障害があってもきょうだいがいたほうがいいのではないかな。

Q:きょうだいの中でキャパオーバーになるときは、どうしていましたか？

A:自分の親が、障害児は無理でもきょうだいをみてくれたりと、サポートしてくれた。

.....

5月に引き続き、今年度2回目のあゆみ学園 Q&A を開催することができました。コロナ禍ですが、万全の感染防止対策をしながら受け入れていただいたあゆみ学園に感謝します。

次回は11月18日(木)を予定しております。



災害時の避難どうしますか？ もう一度確認しましょう！！

災害時 令和3年5月20日から避難指示(警戒レベル4)で必ず避難！！



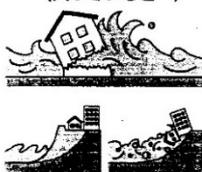
ひなん
「避難」って
何すれば
いいの？

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。
「避難」とは「難」を「避」けること。
下の4つの行動があります。



「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
(入っていると…)



流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります

地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります



② 浸水深より居室は高い

③ 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分
(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります



※①家屋倒壊等氾濫想定区域や③水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認して下さい。

友だち紹介



宮田 真奈
(みやた まな)

【通所施設・年齢】
ワークショップ杜
25才

【好きな事】

ダンス、お菓子作りなど

【得意な事】

お母さんのお手伝い、
身体障害者の姉のお世話

【性格・みんなに言いたい事など】

お話し好きで明るくてとっても元気です！



橋本 昌忠
(はしもと まさただ)

【通所施設・年齢】
しろがね・46才

【好きな物・今後の夢】

(病気になる前) 音楽鑑賞、
車を見ること・会話、歩行が
できるようになること。

【趣味・得意な事】

喜劇鑑賞、ドライブ

【がんばっている事・目標など】

今は離れて暮らしていますが、津島市に妻と
二人の娘がいます。なかなか会えないのでド
ライブしながら会いに行きたいです



小林 剛輝
(こばやし こうき)

【学校名・学年】
くすのき特別支援学校
中学部2年

【好きな事・好きな食べ物】

車のスイッチをガチャガチャやること・
じゃがりこ、マックのポテト

【趣味】

うちspa! 休日は4Rも!! (1Rあたり1h)
コロナ禍で得た趣味です。

【がんばっていること、自己PR】

学校の小さな教壇にて、当番時の直立保持を
がんばっています。だんだんとバランスがと
れてきていますが、当番だと察すると逃亡し
ちゃいます。(笑) 逃げずにがんばります！



本田 貴太
(ほんだ たかひろ)

【勤務先】
豊橋ひかり乳児院、
ちぎり寮

【好きな事・好きな食べ物】

犬と散歩、絵をかく・肉料理

【趣味・得意な事】

音楽、テレビ、ゲーム

【がんばっていること、自己PR】

仕事を一生懸命がんばっています。

<今後の主な行事予定>

- 9月24日(金) ○ゆり組講座・こども発達センター
9月25日(土) 避難所講演会・さくらピア
9月26日(日) 野外訓練会・豊橋総合動植物園
10月 9日(土) 心魂プロジェクト・オンラインテリパフォ
10月23日(土) 愛肢連わいわいカーニバル・岡崎市中心総合公園
~~10月24日(日) 豊降連体育祭・さくらピア (中止になりました)~~
11月 7日(日) 東三ブロック療育訓練会 ロワジールホテル
11月13日(土) ボランティアのつとめ・さくらピア
11月16日(火) ~21日(日) 豊降連文化祭・さくらピア
11月18日(木) ○父母の会Q&A委員会・あゆみ学園
12月 4日(土) ○県心身協福祉大会・愛知県社会福祉会館
12月19日(日) クリスマス会・あイトピア



リモート開催のある行事もあります。その場合はハガキ等でお知らせします。

○印の参加募集はありません

※予定は順次ご案内いたします。急な変更・中止となる場合がございます。ご了承のほどお願い致します。

<あとがき>

・今回の表紙は大谷幸太郎さんの作品です。「トミカのミニカーが大好きで、最近のブームは〈カーズ〉です。ヤフオクでカーズ関連のミニカーが段ボールにいっぱい入っている画像を見てか?!毎日『アレをかってくれ!』と矢の催促です。」と、コメントいただきました。素敵な作品をありがとうございます。

・「父母の会ふれあい短期介護支援」「父母の会入院付添い支援」を活用しましょう。短期介護支援や入院付添い支援は緊急時や入院時に見てもらおう人がいないとき、同居以外の親族等にみてもらい、その介護支援費用(1日4時間以上・5,300円)のうち4,500円を父母の会で負担するものです。使ってみてほしいと思われた時、分からない事があった時には遠慮せずにご相談ください。会員の皆さまのご意見、ご要望を受けてより利用しやすい事業にしていきたいと思っています。

- ・父母の会相談員は中神達二、鈴木智江子、後藤久代、星川広江、磯田周平、尾崎博美、奥平久美子です。悩み事・心配な事、何でも気軽に相談してください。
- ・原稿や感想文を寄せていただいた方には、クオカードをプレゼントしています。積極的に投稿をお願いします。
- ・新会員も大募集中です。隣近所でまだ父母の会に入会されていない方がありましたら是非ご紹介ください。手帳をお持ちであれば障害の種別は問いません。
- ・年会費は¥2,000です。年会費は振込みも出来ます。年会費がまだ納めてない方は下記の振込先に振り込みをお願いします。(できるだけ同封しています振込用紙をご使用ください)

ゆうちょ銀行 口座番号 00840-1-135126 加入者名 豊橋市肢体不自由児(者)父母の会
ゆうちょ以外の銀行等からの振込の場合 ゆうちょ銀行:店番 089 口座番号 0135126 口座名:同上

<お願い>

・いろいろな行事について出席のご返事のあと変更になった場合は中神 まで電話または FAX かメールにてご連絡お願いいたします。

TEL : 0532-23-3217

FAX : 0532-23-4830

E-mail : rsa34375@nifty.com